

COCORESARCH LINKSHIP set.csv 利用

TeraTerm 設定一括書込/読み出しマクロ

操作マニュアル

(2025.11.27 更新)

1. はじめに

本マニュアルでは、ココリサーチ計測器の設定値を CSV ファイルを使って一括書き込み(WP)・読み出し(RP) するための Tera Term マクロの使用方法を説明します。

このマクロを使うことで、以下が可能になります：

- ・ 設定値の一括書込 (WP)
 - ・ 設定値の一括読み出し (RP → CSV 自動更新)
 - ・ 書込→読み出しをセットで実行 (自動検証)
-

2. 必要なもの

● ソフトウェア

- ・ Tera Term (最新バージョン推奨)
<https://ttssh2.osdn.jp/>

● ファイル

- ・ 設定用マクロファイル (COCOTera_Config.ttl)
- ・ LINKSHIP 設定 set.csv を名称変更した 2 つのファイル (set_w.csv, set_r.csv)
- ・ 上記を一緒に入れた製品型式毎のフォルダ (例: ¥COCOTera_PSA-2401)

● 接続環境

- ・ 計測器本体(RS232C または USB-UART)
 - ・ 通信ケーブル(USBtypeC-USBtypA ケーブル等)
 - ・ Windows PC
-

3. CSV ファイル(set_w.csv, set_r.csv,)の形式

CSV の 1 行は以下の形式になっています:

項目番号, 項目名, 設定値(3 列目), 範囲, 工場出荷値, コメント, 予備列...

例:

102,出力更新時間,1,1~9999,1,単位:ms,0

103,出力移動平均,3,1~29,1,単位:回数,0

● 重要:3 列目が「設定値」として利用されます

- ・ 書き込み時:set_w.csv の 3 列目の値が本体へ書き込まれます
- ・ 読み出し時:本体の値が set_r.csv の 3 列目に自動反映されます

● コメント行

行頭が # の行は無視され、そのまま CSV に残ります。

#,CH1 設定 (参考) ,,,,

4. マクロでできる動作

マクロは内部で「mode」で動作を切り替えています：

COCOTera_Config.ttl を開き、上部にある mode=2 の箇所を書き換えることで、

以下の動作モードにチェンジできます。

mode 値	動作内容
0	書き込みのみ (WP)
1	読み出しのみ (RP → 3 列目更新)
2(推奨)	書き込み → 読み出し → 自動更新

通常は mode=2 のままお使いください。

5. 設定対象機器本体との接続方法

1. 設定対象機器 の電源を入れる
2. PC と 機器 を USB-UART(または RS-232C)で接続
3. デバイスマネージャで COM 番号を確認
4. Tera Term を起動
5. Tera Term:シリアル接続を選択 → COMx を選択
6. 通信設定は次の通り：

設定項目	値
TeraTerm ボーレート	230400(または装置仕様に合わせる)

設定項目	値
データ	8bit
ストップビット	1bit
パリティ	なし

6. マクロの実行手順

① マクロ実行

1. Tera Term メニューより
[制御] → [マクロ] → [マクロ実行] を選択
 2. 設定対象の型式のフォルダの COCOTera_Config.ttl を選択
-

② マクロ開始～書込・読み出し動作

マクロは次の順で動作します：

1. 機器へ「P」を送信(設定モード開始)
2. 1行ずつ set_w.csv の1列目項番、3列目設定値を読み込み
3. 各項目について
 - mode=0/2:WP 書き込み
 - mode=1/2:RP 読み出し → set_r.csv の3列目設定値欄を更新
4. 処理済みの CSV を set_r.csv として保存
5. 機器へ「E」を送信(終了)

処理が完了すると set_r.csv に反映されます。

7. 出力 CSV ファイル(set_r.csv)

動作モードが 1 または 2 の場合、
本体から読み出した値が set_r.csv の 3 列目に自動的に反映されます。

例：読み出し前の set_r.csv

102,出力更新時間,1,1~9999,1,単位：ms,0

本体の値が「5」だった場合 → 更新後：
102,出力更新時間,5,1~9999,単位：ms,0

8. Tera Term の設定

The screenshot shows the 'Tera Term: 端末の設定' (Tera Term: Terminal Settings) dialog box. It contains various configuration options for the terminal. The 'Terminal Size (T)' is set to 235 x 52. The 'Line Code' section has 'Receive (R)' and 'Transmit (M)' both set to 'CR+LF'. The 'Terminal ID (I)' is set to 'VT100'. The 'Local Echo (L)' is checked. The 'Response (A)' is empty. The 'Character Set' section has 'Receive (K)' and 'Transmit (J)' both set to 'UTF-8'. The 'Half-width Kana' options are unchecked. The 'Hangul Input (N)' is set to '^[\$B' and 'Hangul Output (O)' is set to '^[(B'. The 'Locale (C)' is set to 'japanese'. The 'OK', 'キャンセル' (Cancel), and 'ヘルプ(H)' (Help) buttons are on the right.

Tera Term: 端末の設定		✕	
端末サイズ(T): 235 × 52		改行コード	
<input checked="" type="checkbox"/> = ウィンドウサイズ(S): <input type="checkbox"/> 自動的に調整(W):		受信(R): CR+LF 送信(M): CR+LF	
端末ID(I): VT100		<input checked="" type="checkbox"/> ローカルエコー(L):	
応答(A):		<input type="checkbox"/> 自動切り替え(VT<->TEK)(U):	
漢字-受信(K): UTF-8 <input type="checkbox"/> 半角カナ(F)		漢字-送信(J): UTF-8 <input type="checkbox"/> 半角カナ(D)	
ローケル(C): japanese		漢字イン(N): ^[\$B 漢字アウト(O): ^[(B	
		OK キャンセル ヘルプ(H)	

Tera Term: シリアルポート 設定と接続

ポート(P): COM4

スピード(E): 230400

データ(D): 8 bit

パリティ(A): none

ストップビット(S): 1 bit

フロー制御(F): none

現在の接続を再設定(N)

キャンセル

ヘルプ(H)

送信遅延

1 ミリ秒/字(C) 10 ミリ秒/行(L)

Device Friendly Name: USB Serial Port (COM4)
Device Instance ID: FTDIBUS\VID_0403+PID_6015+DP078UESA\00
Device Manufacturer: FTDI
Provider Name: FTDI
Driver Date: 10-28-2024
Driver Version: 2.12.36.20

8. よくある質問

Q. 「？」が返ることがあります

通信速度が速すぎる場合があります。

Tera Term の送信遅延設定を 字と行について 10ms～20ms にしてください。

設定：

[設定] → [その他の設定] → [送信] → 送信遅延: 10ms

以上